

食品などの放射能測定報告

今年、1月から12月まで月曜から金曜・午前中開設する体制で測定を実施しました。今年も大口の寄付があつて無料で測定することができました。

関係市町村の広報誌に記事掲載をして呼びかけた結果、役所では扱わない土、木灰、水などの測定依頼者が増えました。また今年新たにファンド利用によって購入したホットスポットファイナダーの活用に伴って那須町をはじめとする県北地域の土壌測定が多く行われました。この結果、1年間の測定総数は589件で昨年470件の25%増しでしたが、県北土壌測定154件とデータ採取37件を除くと398件で昨年より72件（15%）の減少でした。

会員の測定件数は279件（昨年は284件）で昨年とほぼ同じでしたが、非会員の測定件数は119件（昨年は186件）で、67件（36%）減少しました。

測定結果は毎月まとめて、翌月の第1週以内に会員にメールで連絡して、速報性を持たせると同時にホームページに載せて速報性と公開性を維持しました。

「計測種別件数」

非会員：119件（20%） 当番者：135（23%） 会員：144（25%）
土壌測定：154件（26%） その他（データ用）：37件（6%）

「月別件数」

1月：34件 2月：36件 3月：30件 4月：43件 5月：43件 6月：57件
7月：77件 8月：38件 9月：35件 10月：92件 11月：64件 12月：40件

「測定結果の概評」…（ ）内は検出件数の平均値、また文章中BqとあるのはBq/kg の意味…

- (1) 畑の作物は105件中10件が「検出」判定でしたが、レモンバーム1件193Bqと米糠1件41Bqを除けば残り8件は37Bq未満でほぼ安全な状態が続いています。
- (2) 山菜は依然として高い放射能を示して「検出」判定されるものが多く出ています。
 - ① キノコ類は17件中15件が「検出」判定でした（229.3Bq）。
 - ② 竹の子は14件中11件が「検出」判定でした。（40.5Bq）
 - ③ こしあぶらは4件全て「検出」判定でした（308.3Bq）。
 - ④ タラの芽も3件全て「検出」判定でした（85.6Bq）。

…以下については（ ）内は37Bq以上の検出件数の平均値、…

- (3) 食品のうち37Bq以上で「検出」と判定されたものは次のとおりです。
 - ① 野菜ではレモンバーム1件（193Bq）と米糠1件（41Bq）の2件だけでした。
 - ② 山菜ではキノコ類13件（294.3Bq）、竹の子3件（94.3Bq）、タラの芽2件（119Bq）、こしあぶら4件（308.3Bq）、栃の実1件（57.1Bq）、ふき2件（64.5Bq）、よもぎ1件（平均41.5Bq）、わらび1件（44.8Bq）でした。
- (4) ストープ灰や草木灰は35件全てが該当しました（16,732Bq）。那須地区産の落ち葉、おが屑や木材チップの12件の平均も352.8Bqでした。
- (5) 畑の土は那須地域内で23件（761.0Bq）、庭土は9件（1,927.6Bq）でした。

以上